

第30回 運動会

6月9日(土)、梅雨の合間の青空の下、南千住第二中学校第30回運動会が行われました。今年も総合優勝を目指す“赤、白、黄、緑”の色別対抗戦と、学年優勝を目指すクラス対抗戦で、さまざまな競技が繰り広げられました。

今では南二中運動会の名物となった全校生徒による入場行進が吹奏楽部の演奏に合わせてはじまりました。校旗を高くかざして先頭に立つのは生徒会長の〇〇〇〇くん(3-3)。つづいて生徒会役員が続き、赤組、白組、黄組、緑組の順で隊形を組み入場しました。

開会式では、**実行委員会副委員長 〇〇〇〇さん(3-1)**の力強い選手宣誓が行われ、各色の応援旗を持って周りを囲んだ各クラスの実行委員も誇らしげな表情にあふれました。最初の演技はラジオ体操。**実行委員の〇〇〇〇くん(3-4)**が前に立ち、模範演技を行う中、全校生徒の息が合った、素晴らしい演技になりました。

午前の部は、1年男子の短距離走からはじまり、男女別の長距離走、色別対抗棒引き、1年女子の短距離走、色別対抗綱引き、3年全員リレー、1・2年の学年種目と続きました。1年生の学年種目は「**四輪ピック**」。各クラス一人ずつが輪をくぐり早さを競います。勝ったのは、自分の陣地に四輪を運び次々にくぐっていった4組(赤)でした。2年生の学年種目は「**でかばんでゴー!**」。大きなパンツを二人で履いて障害物を越えていきます。チームワークの勝利を決めたのは、3組(赤)でした。各学年の学級対抗リレーでは応援も競技も大盛り上がりで、午前の部は赤組優勢で終わりました。

昼食後、各色の応援団が紹介され、競技が再開されました。午後の部は、1・2年全員リレーからはじまり、3年生の学年種目「**大むかで**」と続きました。これまで3年生は中学校生活最後のこの団体競技に向けて毎日練習を続けてきました。大きなかけ声で勝利を決めたのは、3組(緑)。勝敗を越えて、皆で心をひとつにして駆け抜けたゴールは、笑顔と涙にあふれていました。そして競技の最後を飾るのは、各色の精鋭を集めて行われた色別対抗リレーです。各色の応援団席からは声を限り的大声援が送られ、選手たちの表情は気迫に溢れていました。1年から2年、そして3年とバトンをつなぎ、一番にゴールを切ったのは、白組でした。最後まで全力でゴールを駆け抜けた選手たちに会場からは惜みない拍手が送られました。

全競技を終えて、閉会式で実行委員 〇〇〇〇くん(3-2)から結果発表が行われました。**色別対抗の部は、1日を通し快調にゴールを決めた赤組が優勝、学年対抗の部では、3年生3組、2年生3組、1年生4組がそれぞれ優勝をおさめました。**

運動会に際しては、保護者、地域の皆さまのご理解・協力ありがとうございました。



1年「四輪ピック」



2年「でかばんでゴー!」



3年「大むかで」



色別対抗リレー



スウェーデン赤十字社学校訪問

7月10日(火)に、日本における赤十字活動の視察のため来日中のスウェーデン赤十字社社長のマルガレータ・ワルストロムさんが南千住第二中を訪問。赤十字ボランティア活動、防災・減災活動への取り組みなどについて、レスキュー部員と懇談会を行いました。参加したのは、**レスキュー部部長の〇〇〇〇くん(3組)と、副部長の〇〇〇〇さん(1組)、〇〇〇〇さん(4組)、そしてスーパーレスキュー部部長の〇〇〇〇くん(1組)の3年生4人**です。通訳を交えた懇談会は、日本とスウェーデンのボランティア活動の違いや防災・減災に中学生ができる取り組みなど活発な意見交換が行われ、当初の予定1時間を大幅に越えて終わりました。世界中で長年にわたり人道支援活動を行っているマルガレータさんから見ても、中学生が地域との連携を日々深め、地域とともに防災・減災を目指してボランティア活動に取り組んでいることはたいへん希少で価値あることとお話いただきました。南千住二中からはじまったレスキュー部は今では日本中に広がり、近い将来スウェーデン、そして世界で中学校レスキュー部が誕生するかもしれません。



皇后陛下、各妃殿下ご臨席のもとレスキュー部の活動報告を行いました。

5月号でご報告しましたが、5月16日に行われた全国赤十字大会において、レスキュー部部長の〇〇〇〇くん(3-3)が「地域防災を担うレスキュー部」と題して、保育園との合同避難訓練や絆ネットワーク活動などの実践活動報告を行いました。この大会には、日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下や名誉副総裁の皇太子妃殿下、各妃殿下がご臨席になり、小林くんの発表を熱心に傾聴くださいました。奉送(お見送り)の際には、皇后陛下から「これからも地域の人と一緒に頑張ってください。」とお言葉いただきました。写真提供: 日本赤十字社



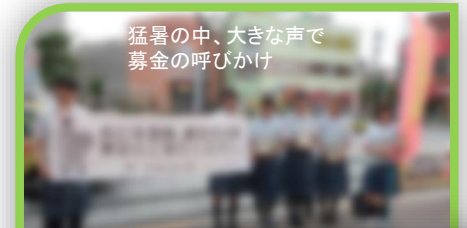
西日本豪雨災害募金活動

6月から7月にかけて九州から近畿・中国地方を襲った記録的な豪雨により、西日本地域は、河川の氾濫や浸水、土砂災害などの甚大な災害に見舞われました。

南千住第二中では、荒川区社会福祉協議会の応援要請に応じて急遽街頭募金活動に参加。この日2年生は下田移動教室のため参加できませんでしたが、〇〇〇〇さん(2組)、〇〇〇〇さん(2組)、〇〇〇〇さん(2組)、〇〇〇〇さん(2組)の1年生4人と、〇〇〇〇さん(1組)、〇〇〇〇さん(4組)、〇〇〇〇さん(4組)、〇〇〇〇さん(4組)の3年生4人が7月11日(水)の夕方から南千住駅前周辺で募金活動を行いました。厳しい暑さの中、8人は元気づく募金の呼びかけを行い、この活動に賛同いただいた皆さまから多くの募金が寄せられました。今後、被災地の復興や被災者支援に役立てられます。

皆さまのご協力、ありがとうございました。

猛暑の中、大きな声で募金の呼びかけ



多くの善意が集まりました。



JRC 地域清掃



JRC委員長の
〇〇さん

6月12日(火)の5、6校時に、日頃お世話になっている南千住周辺の地域清掃を行いました。今回の地域清掃には、全校生徒と教職員総勢およそ400名が参加しました。出発式では、注意事項などの説明につづいて、**JRC委員長の〇〇〇〇さん(3-1)が「地域を隅々まできれいにして、地域も心も美しく磨き上げましょう」と力強く挨拶しました。**その後、鉄ばさみとゴミを入れるレジ袋を手に南千住の街に一斉に繰り出しました。清掃活動はおよそ1時間。道路脇の植え込みの中や側溝のふたの間まで目を配り、隅々まで一生懸命に地域の美化活動に努めました。

全校生徒が校庭に戻ってくると、大きなポリバケツはあつという間にあふれるほどになりました。その後JRC委員がゴミを分別して、作業に使った鉄ばさみや資源となる缶やペットボトルなどはきれいに洗って回収してもらいました。計画や準備から出発式の司会、最後の片付けまで行ったJRC委員の皆さん、ご苦労さまでした。



3年生清掃の様子



1年生も一生懸命
ゴミを拾いました。

1年生 校外学習(南千住地域学習)

7月6日(金)、1年生の校外学習が行われました。当日は朝方から雨が降り続け、残念ながら班ごとに決めたコースを回る地域巡りは秋に延期に…。午前中は、雨の責任をとって(?)中陳先生が、写真やクイズを交えながら楽しく学べる南千住講座を開催してくださいました。11時頃にはクラスごとに「ふるさと文化館」へ向けて出発。館内の展示物や資料を見学し、南千住地域の縄文時代から現在までの歴史や文化について学びました。

午後からは毎年、地域学習の一環として、荒川総合スポーツセンターで行われている「あらかわの伝統技術展」を見学しました。昼にはスポーツセンターに集合し、大体育館の2階ギャラリーで物音を立てることなく静かにお弁当をいただきました。これは、階下で行われている伝統技術展の邪魔にならないようにと先輩たちが守り通してきた南千住二中の伝統とひとつとなっており、スポーツセンターや伝統技術展の皆さんから1年生の整然とした行動に**今年もお褒めの言葉をいただくことができました。**その後、荒川区のたくさんの職人さんたちによる伝統的な技術の数々を見学。歴史、文化そして伝統技術を見て体験して学び、地域に対する誇りを高めました。

ふるさと文化館

スポーツセンター

あらかわ伝統技術展

3年生が地域を語る！

南千住地域には、たくさんのお寺や神社、古くから多くの人が往来した有名な通り、かつて大規模工場が建ち並び、野球や演芸が開催された施設の跡地などがあります。これらを36ヶ所に分けて、**3年生が校舎2階の3年生の教室やアリーナを使って地域の歴史や人物などを紹介しました。**3年生による講座は、3年間の地域学習の成果であり、「地域を語る南二中学生」としての実力を存分に発揮して、これから地域学習を行う1年生がわかりやすいように工夫を凝らしたもばかり。タブレットを使ったり、クイズ形式にしたり、なかには寸劇を交えるものもあり、1年生に大好評でした。



2年生 下田移動教室

7月9日(月)から11日(水)までの2泊3日、2年生は下田移動教室に出かけました。出発式では、**実行委員長の〇〇〇〇くん(2組)が、「下田移動教室のスローガンは“下田に恋した私たち”です。私たちはこの1年間で後輩もでき、いろいろなことを学び、成長してきました。この経験を活かして今回の下田移動教室に挑み、成功させましょう」とあいさつしました。**下田移動教室を心から全員で楽しもうという意味がこめられた素晴らしいスローガンと掛田くんの堂々とした態度に、見送りに出ている他学年の先生からも大きな拍手が送られました。バスは伊豆半島の高台にある下田臨海学園に向かって出発。バスの中ではレク係が用意したゲームに盛り上がりました。下田のスタートは**下田海中水族園**から。イルカのショーを見たり、アザラシに触れる体験などをしました。その後、班ごとに市内散策開始。地図を見て3つのチェックポイントを探したりクイズを考えたりしながら市内の名所や施設などを回り、全員が予定通りに学園に到着しました。入浴、食事のあとは、スケッチコンテストを開催。印象に残った景色や文化財を班で協力して色鮮やかな絵に仕上げました。

2日目は、バスで**小室山公園**に向かいました。公園ではクラス写真を撮影後おいしいソフトクリームをいただきました。真夏を記録した3日間で疲れや暑さを忘れるひとときでした。そして、何よりみんなが夢中になったのが、公園の斜面を利用した段ボール滑りです。繰り返し登って滑るうちに上達して、サーフィンのように立って芝生の波を滑走する様子も見られました。午後からは、**八幡野窯で、手びねりの陶芸体験**を行いました。みんな土からこねて自分でデザインした形に一生懸命作りしました。完成は秋になるとのこと。どんな作品ができあがるのか今から楽しみです。**夜は学園で「きもだめし」のレク大会**を行いました。数人ごとのグループに分かれ、全館を暗くして、食堂からホール、渡り廊下、誰もいない1階の部屋を通過して、学園の端にある204号室へ向かいました。明かりのない学園は何かが潜んでいそうなムードたっぷり。レク係苦心の作の怪奇現象の数々に、悲鳴や助けを求める叫び声が館内に響き渡り、大盛り上がり。レク大会となりました。

最終日はまず**伊東マリンパーク**に立ち寄り、お土産を購入。そして**小田原城址公園**へ向かいました。目の前に佇む小田原城にみんな大興奮で、天守閣に上ったり、小田原城の甲冑や刀剣、絵図、歴史資料などが展示された歴史資料館などを班ごとに見学しました。

学校に到着後は、**実行委員長の〇〇〇〇くん(1組)の司会**で解散式が行われました。学年の先生方の話に続き、**実行委員長の〇〇〇くんが、「今回成長できたことを学校生活にいかしていきましょう」とあいさつ**をしました。3日間を通して、楽しく素晴らしい思い出がたくさんできました。これからの2年生の成長が大いに期待されます。



下田に恋した私たち

暑い3日間を

思いっきり楽しみました！

第3回 ビブリアバトル

図書委員会

今回で3回目となるビブリアバトルが7月3日(火)の放課後に開催されました。ビブリアバトルとは、『本を紹介するゲーム』です。発表者は5分の持ち時間の中で、本の面白さ、オススメのポイントなどを語ります。最後に、会場の参加者全員が「一番読みたい本」に挙手して、もっとも多くの人気を集めた本が『チャンプ本』となります。今回は1・2年生の5人が好きな本の魅力について発表。1年生の〇〇〇〇くん(2組)が「奇譚ルーム」、〇〇〇〇さん(3組)が「君の隣臓がたべたい」、2年生の〇〇〇〇くん(2組)が「人質の朗読会」、〇〇〇〇くん(3組)が「ふたりはともだち」、〇〇〇〇さん(3組)が「少女地獄」について紹介しました。



そして、**第3回チャンプ本**には、短編小説集の「少女地獄」に決まりました。どの本も図書室にあります。この機会に読んでみませんか。



▲推薦本を手には挨拶する発表者の皆さん

◀司会の〇〇くん(中央)と進行の〇〇さん(左)



保育園合同避難訓練

レスキュー部と近隣保育園の合同による避難訓練が6月29日(金)に行われました。これは、災害時に南千住二中が避難所になったことを想定して、毎年行われるもので、今回参加した保育園は、**南千住七丁目保育園とおひさま保育園**の2園です。レスキュー部員は園児たちを迎えにそれぞれの保育園に向かい、園児1人にレスキュー部員1人が付き添って、安全に配慮しながら南千住二中まで誘導しました。



折り紙でコミュニケーション。

到着後は、折り紙や絵描きなどで一緒に遊び、園児たちとふれあう時間をつくりました。このように顔なじみになることで、万一の時にも園児たちは安心して迎えを待つことができます。最後に園児を保育園に送り届けて訓練は終了しました。今後も定期的に合同避難訓練を行い、地域とともに防災意識を高めていきます。

フラワーアレンジメント部

天王祭に作品を奉納！

天王祭に部員19名のアレンジメント作品を奉納。6月2日、3日の大祭期間中、素盞雄神社の境内で展示されました。3年に1度の大祭ということもあり、境内は見物客で大賑わいでしたが、アレンジメント作品に足を止め見入る人も多く、見かけられました。



3年生 修学旅行

5月17日(木)から19日(土)までの3日間、3年生は2泊3日の修学旅行に行ってきました。3年生にとっては中学校生活最大にして最後の宿泊行事です。およそ1ヶ月をかけて準備を重ね、この日を心待ちにしていました。東京駅の出発は**実行委員の〇〇〇〇さん(1組)**の司会で行われました。**実行委員長の〇〇〇〇くん(2組)**の「**南二中生の自覚をもって行動し、みんなが笑顔で終われる3日間にしましょう!**」の出発の言葉に、3日間ですらに一人ひとりが成長することを心に誓い、出発しました。

京都駅に到着すると、バスで京都東山に移動し、班ごとに**三十三間堂や清水寺、建仁寺**などを散策。最後に建仁寺の禅居庵で全員で座禅を体験しました。呼吸を緩やかにして、精神を統一していききました。はじめは体が揺れたり、思わず声もれる生徒もいましたが、目を閉じて静寂の中に身を置くうちに、監督の僧侶からいただく警策の音も消え、皆心が落ち着きリラックスしていきました。この日の宿泊は、「**松井別館 花かんざし**」。夕食は部屋ごとにすき焼きを作っていただきました。1日目の最後は「**漆器の加飾体験**」へ。初夏らしい花火や金魚、古都の雰囲気漂う寺社や手まりなど思い思いの図柄に真剣な眼差しで筆で色ずつ入れて、思い出に残る素敵な作品を完成させました。翌朝、前日の市内散策ですこしたびれた靴が従業員の皆さんの手ですべてきれいに磨き上げられており、爽やかな気持ちでタクシーを利用した市内観光に向かうことができました。行動班ごと決めたコースで、東寺、東福寺、伏見稲荷大社、金閣寺、などを見て回りました。午後には、奈良に向かって出発。2日目の宿泊は、「**奈良パークホテル**」。天平時代の女官の衣装を身につけたホテルの皆さんのお出迎えに一同大感激しました。夕食は、太古の宮廷料理なども加えられた懐石料理をテーブルマナーを学びながらいただきました。はじめてのマナー教室に緊張しながらも心づくしの料理の数々を満喫しました。

3日目はバスで移動して、**東大寺や奈良公園**を見学。昼食後、**実行委員の〇〇〇〇さん(4組)**の司会で解散式を行いました。**実行委員長の〇〇〇〇くん(2組)**からお世話になった添乗員さんやホテルの皆さんへ感謝の言葉が送られました。最高の思い出ができ、進路に向かってさらにひとまわり成長した3日間でした。



京都・奈良で日本の歴史・文化、

そしておもてなしの心を学んできました。



東大寺の前で記念撮影

京都観光といえば金閣寺!

北野天満宮で合格祈願!